

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和7年1月31日現在

### 今月の重点活動

#### ■指導農業士 新規就農者らに農業の心構えを講演

J Aめぐみのが主催する新規就農者並びに就農予定者を対象とした「新規就農者集合研修」の最終講義として、1月31日に郡上地区指導農業士会の会長が農業に対する心構えについて講演を行った。

講演では、「高品質な“飛騨牛”生産を目指して」と題して、自らの経営について講演し、最後に「いい時も、悪い時もある。いい時におごらず蓄えをして、悪い時に備える。」等、新規就農者に必要な心構えを語った。受講生である新規就農者らは、今後の農業経営の参考にすべく、熱心に聴講していた。

農業普及課では、新規就農者への技術指導はもちろんのこと、地域の担い手リーダーである指導農業士らとの結びつきを支援し、彼らの営農定着を図る。



【指導農業士が  
新規就農者に講演】

### 郡上の農業・農村を支える人材育成

#### ■青年農業士 高校生に農業現場を紹介

青年農業士が「土地利用型農業とは」と題して、1月30日に郡上高校の園芸科学科2年生と総合農業学科群1年生の70名に対し出前講座を行った。対面で実施する予定であったが、当日は大雪のため、対面とリモートの両方で実施された。

この講座は、地元の高校生が若手農業者の話聞き、地域の農業に関心を持ってもらい、将来農林業に関わる職業に就くことを目的に毎年開催されている。今年は、水稻生産から販売までの流れや、耕畜連携の取組み等、自らの経営を紹介した。

農業普及課では、今後も青年農業士の活動を支援するとともに、若い農業者の育成・確保について、関係機関と連携して取り組む。



【青年農業士の出前講座】

#### ■就農支援 「ぎふアグリチャレンジフェア」で就農相談

農業普及課は、郡上地域への就農希望者を募集するため、1月25日に岐阜市で開催された就農相談会「ぎふアグリチャレンジフェア」に中濃地域就農支援協議会の一員として参加した。当日は県内20団体から出展があり、13時から16時までブースにおいて就農相談に応じた。

中濃地域就農支援協議会のブースには3名（内、県内出身者2名）の相談者が訪れ、研修等、就農支援体制について熱心に耳を傾けていた。

農業普及課では、新規就農者確保に向けて募集活動を継続していく。



【就農希望者との面談】

## ■認定新規就農者 認定農業者への移行支援

農林事務所では、認定新規就農者として5年が経過した生産者に対して、認定農業者へ移行できるよう、経営改善計画の作成を支援している。

この1月には、農業普及課担当者が中心となり、認定農業者を目指す経営者夫妻と、農業振興課担当者をメンバーに、経営改善計画作成を目的に個別面談を実施した。本件については、栽培の方式や規模、出荷方法等の見直しまで多岐に渡ったが、生産者の意向をふまえつつ、他の栽培事例や必要技術等を助言指導している。2時間ほどの面談を通じ、経営者夫妻の疑問なども概ね解決され、市に提出されることとなった。

農林事務所では関係機関と連携しながら認定農業者移行後も経営改善計画の目標達成に向けて支援をしていく。

## 郡上農畜水産物のブランド展開

### ■夏秋トマト 個別懇談会を各地域で開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会では、1月29～31日に管内の3地域で懇談会を開催し、次年度の栽培計画を取りまとめた。

懇談会では個人ごとの収量実績や栽培記録を示し、JAおよび農業普及課から改善点等について助言・指導を行い、各部会員が自ら次年度の品種や定植時期を決定した。

農業普及課では、次年度作に向けた郡上地域の夏秋トマトの生産振興を積極的に支援していく



【次年度に向けた懇談会】